

市営住宅にお住まいの方へ

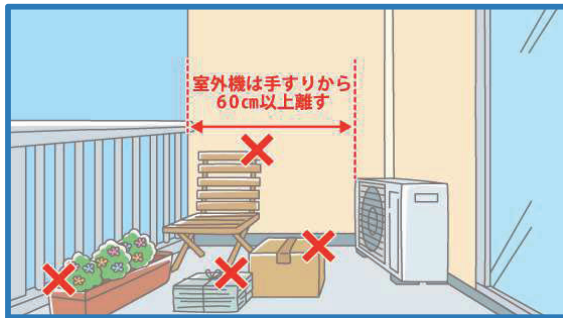
窓やベランダからの子どもの 転落事故防止についてのお願い

- 近年、子どもの転落事故が相次いで発生していることから、今一度、【窓】や【ベランダ】周りの御確認や【補助錠】の設置をお願いいたします。

※【補助錠】はお近くのホームセンター等で購入できます。

子どもの転落事故を防ぐには？

(1) ベランダには物を置かない



(2) 補助錠を付ける

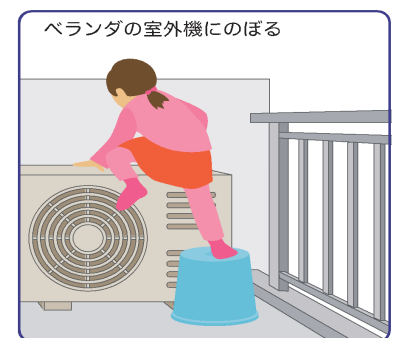


出典：「ご注意ください！窓やベランダからの子どもの転落事故」
政府広報オンラインより

外廊下やベランダ、窓際に子どもがよじ登れるものが置かれてませんか？

共用部の外廊下や外階段、各住戸のベランダに適切な手すりが設置されていても、その前に物が置かれていると、子どもがよじ登り手すりを乗り越え落下してしまいます。腰の高さに窓台がある窓の場合も同様です。

手すりの前や窓際に、
台や物置、椅子、テー
ブル、ベッド等が置かれて
いないか確認しましょう。



また、外廊下や外階段、
ベランダは、災害時には避難経路になることから、
不用意に物を置かないようにしましょう。



出典：「安全・安心なマンションのために」
国土交通省 国土技術政策総合研究所
平成31年3月発行より

—夏頃から転落事故が増加する傾向にありますが、 季節を問わず事故は起こり得るので常に注意が必要です。—

窓やベランダからの子どもの転落事故に御注意ください！

子どもが住居などの窓やベランダから転落し死亡する事故が多く発生しています。厚生労働省「人口動態調査」、東京消防庁「救急搬送データ」及び医療機関ネットワーク事業の事故情報を消費者庁で分析したところ、

- ◆ 窓を開けたり、ベランダに出る機会が増えたりする 夏頃から転落事故が増加
- ◆ 子どもの中でも 3～4歳の転落事故が最も多い
- ◆ 2階からの転落でも入院が必要な中等症と診断されている事例が多い
- ◆ 窓が開いた部屋で子どもだけで遊んでいて発生する事例が多い

ことが分かりましたので、注意が必要です。

住居などの窓やベランダから子どもが転落する事故を防止するためのポイント

窓やベランダ周辺の環境づくり

- ① 窓やベランダの手すり付近に足場になるようなものを置かないようにしましょう。特に、エアコンの室外機の置き場所は工夫しましょう。
- ② 窓、網戸、ベランダの手すり等に劣化がないかを定期的に点検しましょう。
- ③ 窓を閉めていても、子どもが勝手に窓を開けないよう、窓や網戸には、子どもの手の届かない位置に補助錠を付けましょう。換気をする際も同様です。

子どもの見守り・子どもの教育

- ① 子どもだけを家に残して外出しないようにしましょう。
- ② 窓を開けた部屋やベランダでは子どもだけで遊ばせないようにしましょう。
- ③ 窓枠や出窓に座って遊んだり、窓や網戸に寄りかかったりさせないようにしましょう。

子どもから一瞬たりとも目を離さないことはできず、限界があります。子どもの見守りと合わせて転落事故が起こらない環境づくりを行いましょう！

出典：「消費者庁 News Release」 令和2年9月4日発行より

【問合せ先】 倉敷市営住宅管理センター

倉敷市阿知1丁目7-2 くらしきシティプラザ西ビル6階

電話：086-430-0109

F A X：086-430-0115